

## 「一般社団法人日本ゲノム編集学会」学会設立趣意書

### 【設立趣旨】

生物のゲノムの中にある遺伝情報は生物として存在するための基本情報であり、40億年の生命の進化歴史の中心を担っています。総ての生物の違いはゲノム情報の違いに基づいており、その多様性を担っています。一方、人類はその存続のために穀物や家畜を育種によって改良し、食料などを確保してきました。この育種は偶然に生じるゲノム情報の変異、つまり突然変異を利用しています。すなわち、人類は偶然に生じた突然変異の組み合わせに頼って、人類に役立つ生物を得てきたわけです。しかし、この方法は偶然を待つだけであり、膨大な時間を要するという欠点があります。また、この突然変異は我々自身にも生じるため人類は多くの遺伝性疾患に悩まされています。それは、直接的な影響もありますが、環境による因子を含めて間接的なリスクとなっている場合もあります。

このようなゲノム情報の変異を人工的に効率良く操作することができれば、人類が持つ多くの問題を解決できるとともに、生命の神秘を解明することが可能となります。その一つの技術が近年開発されてきたゲノム編集（Genome Editing）です。ゲノム編集はこの数年間に急速に発展し、生命科学の分野に革命を起こしています。多くの研究者がこの革命的な技術に興味を持ち、また実際に利用していることから、研究者間の情報交換の場が必要であり、またさらに協力して、将来必要になる新しい技術を開発するためにプラットフォームを構築する必要があります。さらに、ゲノムの改変した生物に関する倫理的問題も存在し、そのスタンダードを構築する必要があります。従って、研究者および社会の要求を満たすための組織が必要であり、ここに日本ゲノム編集学会を設立するものです。このような学会設立の趣旨をご理解いただき、学会への参加、ご支援を頂くようお願い申し上げます。

### 【学会組織について】

既に、ゲノム編集コンソーシアムが設置されており、そこでは、下記の活動目的により、研究会や講習会などが開催されています。このコンソーシアムを基盤に平成28年4月に日本ゲノム編集学会(The Japanese Society for Genome Editing)を設立します。学会は一般社団法人として設置する予定です（一般社団法人については以下のホームページを参照して下さい）。

一般社団法人について：<http://www.moj.go.jp/MINJI/minji153.html>

## 【活動目的】

本学会は、ゲノム編集に関する情報交換をおこなうとともに、ゲノム編集の基盤技術の開発を行い、この技術の発展及び社会還元、人材養成などに貢献することを目的とします。

具体的には以下に示すゲノム編集に関する活動を行います。

- (1) 技術の研究開発と技術利用支援
- (2) 情報交換のための研究会等の開催
- (3) 学会会報等による研究の広報
- (4) 研究の啓発活動と倫理問題への提言
- (5) 研究者や技術者の育成
- (6) 会員及び国内外の関連学会あるいは団体との連絡及び協力
- (7) 国際的な研究協力と交流の推進
- (8) 各賞の授与
- (9) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

平成27年12月吉日

「日本ゲノム編集学会」設立準備委員

山本 卓(代表)	広島大学大学院理学研究科・教授
野地澄晴	徳島大学・理事
真下知士	大阪大学大学院医学系研究科・准教授
川原敦雄	山梨大学医学部・教授
笹倉靖徳	筑波大学生命環境系（下田臨海実験センター）・教授
村中俊哉	大阪大学大学院工学研究科・教授